

『ねぎの消費拡大と地場での販売促進』

＜ J A八千代市農産物直売施設グリーンハウス ＞



【産地名 八千代市（千葉県）】
産地データ（H15年）

対象品目名	ねぎ
産地の名称	八千代市
作付面積	57ha(市全体)
主要作付品種	夏扇2号、3号、4号
作付農家戸数	233戸(市全体)
生産量	1320t/年間(市全体)
出荷(販売)量	11,9t/年間
販売額	2,4百万円/年間
出荷(販売)先	八千代市直売所

1. 産地の概要と特徴及び課題

八千代市は千葉県北西部に位置し、都心から35km圏域の都市近郊農業地帯です。主な経営類型は、水稻と組合せた野菜経営や果樹経営や酪農経営などです。野菜では、ほうれんそう・ねぎ・にんじんの生産がさかんです。JA八千代市のねぎの主な作型は、春夏にんじんの後作に、秋冬ねぎを作付けする組合せが多くなっています。

この数年、輸入野菜の急増による価格の低迷や、都市化により作付面積、出荷量の伸び悩みが懸念されていました。

当事業により地域性を生かした直売体制が形成されつつあります。

対象品目の作型（生育ステージ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
作業	○					○						
	播種期 5/下旬					2/中旬播種期						
	△					□						
	定植期 4月~6月					収穫(最盛)期 10月・12月~2月						

2. 産地改革計画の概要

策定対象品目名	ねぎ	該 当 市 町 村 名	八千代市
策定年月	平成14年3月		
策定主体名	八千代市農業協同組合		

(1) 計画の全体概要（要旨）

農産物の市場価格が低迷する中で、市場中心の流通から直売方式とすることで、出荷・調製労力及び、それにかかる経費を軽減することができます。また、販売額の増加も望めることから、所得を増やすことができ、将来的に直売比率を高めながら、より安定した経営を目指していきます。

なお、流通の改善だけでなく、消費者の目の届く圃場で生産した、安心・安全・新鮮な農産物で地産地消を推進していきます。

(2) 具体的な目標

高付加価値化タイプ

農産物直売所の設置により、朝取りで鮮度が良く、生産者の顔が見えるという付加価値を付けて、品質と商品価値を向上させた農作物を供給し、また出荷及び販売過程における生産コストや出荷労賃の低減を図ります。

直売数量を現状0 tから20 tに拡大する。

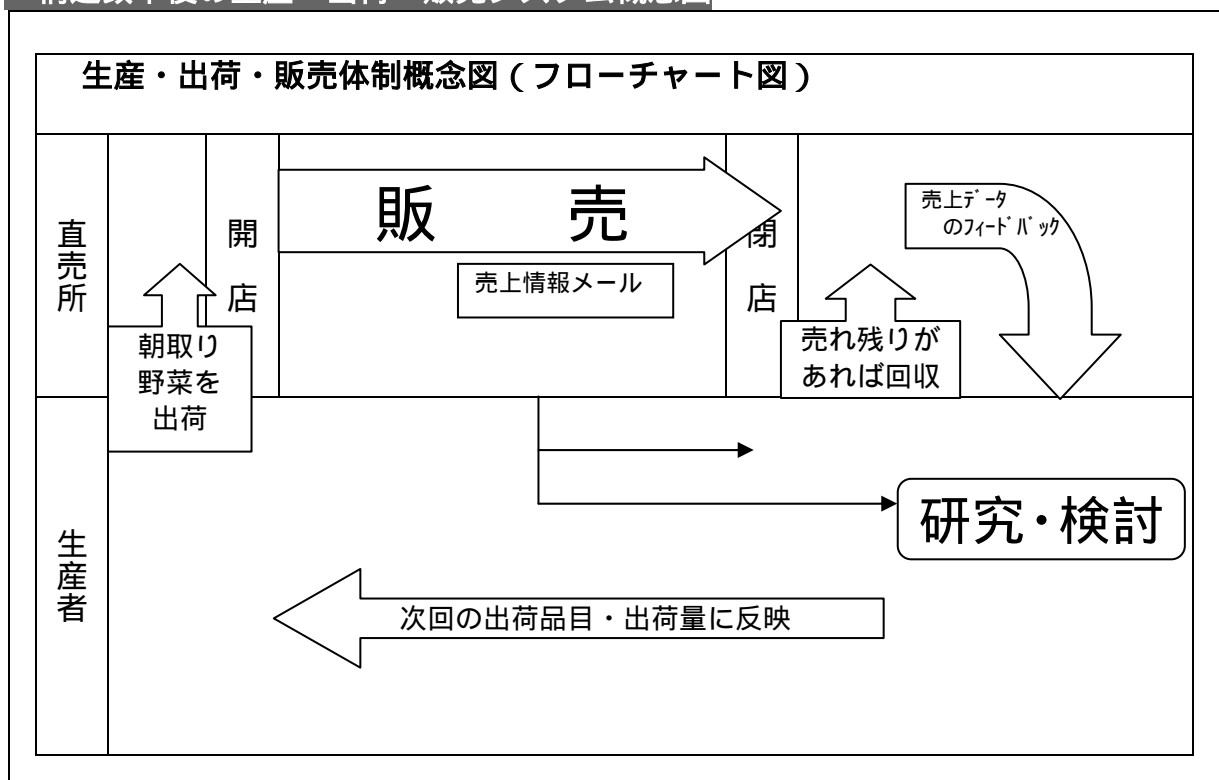
3. 産地改革計画の実行状況とその成果

地場農産物の販売拠点が確立したことによって、高付加価値農産物の供給が可能となり、結果として生産意欲が向上しました。また、各種イベントの実施により消費者との交流ができ、直売所のPRにつながったことで産地が活性化されています。市場出荷よりもダイレクトに商品の需要がフィードバックされるため、売れる品種や新品種の研究に意欲的な生産者が増えてきています。

平成15年度ねぎの販売実績では、当年度数量目標の12 tをほぼ達成し、販売金額は241万円となりました。

販売単価を比較すると、直売所手数料を引いた単価は171円/kgであり、同市JAにおける共同市場出荷では169円/kgと、約2円ほど上回っています。また、直売所単価は安い泥ねぎを含んだものであり、それを除いて計算した場合の販売単価は239円/kgであり、市場出荷に対して、約70円/kgもの高付加価値化を実現したと言えます。

構造改革後の生産・出荷・販売システム概念図



産地改革に係る補助事業等の実施状況

国庫補助事業

年度	事業名	事業主体名	事業内容	事業費	国庫補助金
14年度	輸入急増農産物対応特別対策事業	八千代市農協	直売施設 141,5 m ²	29.5 百万円	14.0 百万円
			産地改革推進事業	0.2 百万円	0.1 百万円
15年度	輸入急増農産物対応特別対策事業	八千代市農協	産地改革推進事業	0.2 百万円	0.1 百万円

(小数点2位以下切り捨て)

関連事業(取組等) なし

	事業(取組)名	事業主体名	事業(取組)内容	事業費	うち補助金
				(百万円)	(百万円)

4. 今後の課題とその取組方向

消費者層に対するPRはまだ不十分で、消費宣伝が行き渡ることによって更なる来客者増と売上増を見込める余地があります。具体的には、ホームページによる情報発信や、通信販売などが挙げられ、生産面では生産者情報や栽培履歴等のトレーサビリティの充足が必要になってきます。

次に、学校給食への地場農産物の供給も確立されたが、量的には向上の余地があるので、相互の需給を見極めて連携をとっていきます。

また、現状の出荷体制は中・小規模生産者にとってはともかく、大規模生産者には、多少値が落ちて市場出荷の方が省力になっていいと考えられています。しかし、直売から見ると、夏場の葉物野菜や冬期の果菜類など品揃えを考え、規模に関わらず、生産者に負担の少ない集出荷体制の確立を図っていく方針です。

【特記事項】

直売所の実績

予想通りの来店者数：平日200～250名

休日300～350名

取り扱い品目：120品目

生産者数：199名

産地改革・取組フォト



ねぎの培土作業



ねぎの出荷姿（どろねぎ）



団地近くに建設された直売所



朝開店と同時に
お客が入る



ねぎを中心に直売のPR

< 県・問い合わせ先 >

千葉県農林振興センター振興普及部地域振興課

担当係名(氏名) ... 伊藤 昭洋

住所：千葉市緑区大金沢町473-2

TEL：043-300-0950

< 農協・問い合わせ先 >

八千代市農協 グリーンハウスゆりのき店

担当係名... 店長 中村良裕

住所：千葉県八千代市大和田新田640-1

TEL：047(489)4147